

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月2日

確定日 平成22年6月14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2770801682		
法人名	株式会社ケア21		
事業所名	たのしい家田辺(2階)		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪市東住吉区田辺2-11-43		
自己評価作成日	平成22年5月3日	評価結果市町村受理日	平成22年7月5日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.osaka-fine-kohyo-c.jp/kaigosip/Top.do
情報提供票を活用する場合	

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 ケア・ウィル
所在地	愛知県名古屋市中村区則武1-13-9 チサンマンション第三名古屋1109号
訪問調査日	平成22年5月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者様の威厳を尊重し、自分らしい生活の維持を、職員はもとより、家族・地域と共に支援します。</p> <p>残された能力を最大限に活かし、出来る喜びや達成感のある日常生活を支援します。</p> <p>最高のサービスを提供する為、研修を行い、職員の育成に努めます。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>ホームは昔ながらの商店や住宅が混在する地域にあり、開設から5年が経過し地域との交流や馴染みの関係が築けてきている。また、周辺には種々の木がある公園が点在し、入居者は日々の散歩で公園に立ち寄り、気分転換をしたり四季折々の花を楽しんだりしている。職員は「いつも入居者本位・入居者第一に」を念頭に置いて日々のケアに取り組んでおり、入居者一人ひとりの好みや思いを知るためにセンター方式を導入したり、その把握や実現のため居室担当制をもうけたりして、入居者一人ひとりが望む生活やその人らしい生活ができるように努めて成果を上げている。家族アンケートでは回答者全員から「職員はいきいき仕事をしている」とあり、職員の心を込めたケアややりがいを感じるケア、チームワークの良さが評価されている。居間には入居者とともに制作した時節の飾りを掲示したり、花を飾ったりするなど季節感のある居心地の良い空間作りがなされ、入居者ができるだけ居室に閉じこもらずに居間で楽しく過ごせるよう配慮している。5月から着任した新管理者は、今後も職員とともに入居者一人ひとりに寄り添ったケアを、さらに充実させていきたいと考えている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を見える所に掲示している。	会社の理念を玄関やスタッフルームに掲示し意識づけを図っている。職員の意見で今後は職員会議で唱和する予定である。管理者と職員は「いつも入居者本位に入居者第一に」を念頭に置いて、入居者一人ひとりに寄り添い、どう思っているのか、どう関わっていくかを常に考えて支援している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地域のイベントや地域のデイサービスを利用している。	地域ネットワーク委員の方の誘いで、いきいきデイサービスや花見、落語会等、また、広報誌で情報を得てコンサートや展覧会などに可能な限り参加し、地域住民と交流を図っている。日常的には散歩時に挨拶を交わしたり、馴染みの店で買い物をしたり、近所の方が訪ねてきたりしている。	開設から5年が経過し、地域との交流や馴染みの関係が築けてきている。今後はさらに子ども達との交流やホームの行事への誘いなどを、新たな交流が広がることを期待したい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	イベント等で職員と共に参加をしているので、支援の方法などは徐々に理解を得ている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での要望・意見は取り入れ、次回の会議で改善したことを、報告している。	2カ月に1回開催し、家族や地域ネットワーク委員、地域包括支援センター、会社担当者、管理者、計画作成担当者が参加している。家族には毎回案内しており、数名の家族がいつも参加している。会議では入居者の状況や活動報告、メンバーからの情報や助言を得て、サービスの質の向上や改善に活かしている。	参加メンバーも定着して着実に会議が継続している。今後はさらに幅広い分野の方にオブザーバーとして意見を仰いだり、入居者の参加等も視野に入れながら、より充実した会議となることを期待したい。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる	介護フェスティバルに参加しパネルで紹介した。	区が主催する介護フェスティバルに参加し、ホームの活動状況などを発表した。それ以外には市や区の担当者と関わることはない。	担当者にホームの現状を伝えたり、相談したり、運営推進会議への参加を依頼するなど、連携の機会をつくり協力を得られる体制づくりに期待したい。
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	研修等を実施して職員の互いの拘束の意識を高めている	研修、会議、業務上の指導で身体拘束について理解を深め、拘束しないケアに努めている。転落の危険が避けられずベッド柵の必要があった方には、家族に連絡し同意を得ている。各フロアの入り口やエレベーターなどは施錠されていないが、目の届かない1階玄関の鍵のみ、外部からの侵入者を警戒し、常時施錠している。	安全確保のため開錠することは厳しい面もあるかもしれないが、鍵をかけることを常態化せず、職員間の連携や見守り、工夫のもとで、安全で自由な暮らしを支援するという意識を継続して持ち続けることを期待したい。
7		虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等を実施して職員の互いの虐待防止の意識を高めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用している入居者が居るので必要性は話し合っている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は入居者や家族が納得するまで話し合いをしている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	推進会議などで家族の意見・要望など活発に発言がある。その都度改善している。	会社や外部評価のアンケートを活用し、分析して改善に取り組んでいる。家族は運営推進会議で意見や要望を伝えており、来訪時には率直に意見や要望を伝えてくれる。ホームの取り組み状況等については会議や便りで報告しており、また、毎月の田辺便りにて家族にホームの様子、お知らせや入居者本人の介護・看護の状態を伝えている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の職員会議や、日2回の申し送り時に、意見。提案を聞いている。	月1回の職員会議や毎日の申し送りの中で、職員から出た意見や提案は、皆で検討したり、取り入れたり、改善するなど、働く意欲やサービスの質の向上につなげている。家族アンケートからも「職員はいきいき仕事をしている」と高い評価を得ている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的な訪問、人事考課、ほめカード、従業員満足度アンケートにより職場環境整備に努めている		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で年間研修計画を立て研修をしている。外部の研修参加も推奨している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	事業所連絡会・区内GH連絡会の参加を推奨している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面接で本人のアセスメントを行い、性格や生活歴を把握し安心感が持てるよう関係作りに努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族より困っていることや要望に沿って関係作りに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族にとって最良のサービスを家族・本人と話し合い対応している。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として学ぶ事が多く、意見を参考にしている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と本人の関係を把握しより良い関係が築けるように努めている。		
20	8	馴染みの人や場の関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望、要望により、なじみの人や場所との関係が途切れないように努めている。	入居者が以前住んでいた地域の知人や友人がよく訪ねてきてくれる。墓参りや神社への参拝など馴染みの場所への外出希望については、個別対応で実現しており、馴染みの関係の継続支援に取り組んでいる。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の会話の橋渡しなど行い孤立しないように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他所に移動した入居者も家族や新入居先からの相談を受けている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向に添うように努めている 困難な場合は本人本位に検討している。	入居者の好みや思い、意向を知るためにセンター方式を導入した。本人の生活史、家族の思い、元気な頃の暮らし方、今の本人の姿と思いなどを家族に記入してもらい、一人ひとりの居室担当者が主となって分析することで、入居者の理解が深まり、新しい気づきがあった。職員間で共有し介護に反映させるよう取り組んでいる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から生活歴や生活環境をアセスメントを行っている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来る事の能力の把握し自尊心を傷つけないような支援を努めている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	意見が出た場合は家族や本人と話し合い、施行し適している場合は介護計画に反映している	介護計画は職員皆で作るものという意識をもち、会議や申し送りの場で入居者の状態や介護について意見を出し合い、モニタリングや介護計画に反映している。入居者や家族の意向に沿ってケアマネジャーが介護計画を立案し、家族に提示し同意を得ている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は介護記録に記入し、申し送り時に気づいた事等、職員間で共有している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	体調や精神的に日々若干異なるのでその都度対応を変えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のイベントに参加をしたり地域を散歩や買物をしている。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に一回往診がある	ほとんどの家族が入居契約時にホームの協力医療機関をかかりつけ医としている。ホームの協力医の往診は2週間に1度あり、訪問看護師による健康チェックも行われている。認知症専門医への受診も支援している。また、急変時の対応として協力医の紹介で大きな病院での適切な医療を受けることができる。	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	毎朝バイタルチェックを行い体調の変化があれば看護師、住診医に相談し受診している。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院や家族に様子を聞き早期に退院出来る様病院に働きかけている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	かかりつけ医と家族と共に方針を決めている。家族や本人の要望を優先にするよう努めている	入居者の状態、家族の意向、主治医の意見等を考慮して方針を決めている。看取りの経験はまだないが、本人や家族の希望に応じ、できる限りの対応と支援を行っていきたいと考えている。職員の中に看護師がおり、医療機関と密に連携を図り支援している。また、家族には日頃から入居者の様子をこまめに伝え、状況を把握し理解してもらっている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防から救命訓練など行っている急変時の対応も訓練している。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行い全職員が対応出来る様に努めている	緊急時の対応方法についてはマニュアルが整備されている。年2回の避難訓練では、実際に非常ベルを鳴らし、入居者も関わりの一緒に行っている。度の訓練で日中だけでなく夜間を想定したり、出火場所、避難経路等も変えて実施している。消防署との連携、協力体制も築いている。	避難訓練の内容は充実していることから、今後は訓練に参加できなかった場合の職員へのフォローや、ホーム全体で災害時における備蓄品の内容等、検討も含めて取り組める体制づくりに期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格や生活歴などを把握しその人にあった又自尊心を傷つけない言葉掛けをしている。	職員は入居者のプライドを傷つけないような対応に配慮し、馴れ合いになり過ぎないように職員同士で注意し合い、丁寧語での会話を心がけている。居室に入室する時には必ずノックと声かけを徹底している。個人情報に関する書類は棚に入れ保管されている。	日々意識はしているも、日常生活の中で守ることが難しい状況が出てくる可能性もある。声かけの具体的な状況について検証し、職員間で共有することにより、さらに質の高いサービスの提供に期待したい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望などは取り入れている又自己決定できにくい人は選択できるよう配慮している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者優先にその人にあった過ごし方を支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回訪問理容師が希望のある入居者のカットや毛染めをしたり、着替え時に声掛けをしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付けや食事作り・お茶入れ等は入居者と共に行い、共に食事している。	食事は職員が作っているが、食事の準備や片付けなどは入居者ができる事を一緒に行っている。月2回、入居者からのリクエスト食を取り入れたり、お弁当を作り公園に出かけ食べることもある。お弁当を持参する職員もいるが、食事中は同じ物を一緒に食べ、さりげない声かけをしたり、話をしたり食事を楽しむ雰囲気づくりがされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は毎回記入している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	就寝時や起床時は口腔ケアを行っている、毎食後はうがいを進めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容	
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表に排泄の頻度を記入し声掛けや誘導を行っている</p>	<p>排泄チェック表で入居者一人ひとりの排泄パターンを把握している。状況に応じて介護計画にあげるなど、トイレでの排泄や自立に向け取り組んでいる。排泄の失敗にも本人のプライドを傷つけないよう職員は対応に注意している。トイレは清潔を保つため1日2回掃除を行い、気付いた時には都度掃除するよう取り組んでいる。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄表に排便時を記入して居る。便秘時は看護師やDrに相談している</p>			
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>時間帯や曜日は決めているが、本人の希望を取り入れ柔軟に対応している。</p>	<p>入浴は基本、隔日であるが、本人の希望があれば柔軟に対応している。入浴を拒む方には職員が様子をみながら時間を置いて声をかけて入浴を勧めたり、浴室の壁に手作りの花の絵をパウチしてはるなど、入居者を楽しませる工夫をしている。入居者は概ね1日おきに入浴している。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>就寝状況に応じ個々の対応にしたがった支援をしている</p>			
47		<p>服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬の支援と症状の変化の対応をしている。</p>			
48		<p>役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食事準備の分担や食材仕分けの役割を決め張り合いのある日々を遅れるよう支援している</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>毎日散歩の他に居室担当者と共に居たい所に行けるよう支援している。地域の花見等に参加をしている。</p>	<p>近隣に公園も多く、散歩は毎日の日課となっている。地域の花見に参加したり、日帰りバス旅行などの遠出もしている。入居者一人ひとりに希望を聞き、喫茶店や回転すしに出かけたこともあり、個別支援にも力を入れている。家族の来訪時に一緒に外出される方も多い。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分でお金を持ちたい人は小銭を持っていて、買い物時に自分で支払うにしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人や家族の希望があれば支援している</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を感じてもらおうように壁に木を作り、入居者と共に季節の風物や花を飾っている。</p>	<p>スタッフルームは壁がないオープンな造りで、廊下やフロア全体が見やすく、職員は会話をしたり見守りをする事ができる。食堂の壁には手作りの大きな木をはり、花や飾りをはりかえる事で、四季折々の季節感を出す工夫をしている。飾りは入居者と一緒に作っており、入居者の楽しみになっている。玄関には職員全員の写真が掲示され、各ユニットには出勤職員の写真が貼られ、入居者や家族に分かりやすくしている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファを設置し気のあった同士で話している。また一人でTVを見ている</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族や本人の要望を取り入れている</p>	<p>居室は備え付けの物だけでなく、入居者の馴染みの家具や好みの品物が持ち込まれたり、作品が飾られ、本人の個性が活かされた居室となっている。掃除は本人が行う方もいれば、職員と一緒にする方もいて、清潔に保たれている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>何処まで出来るかを把握し、どうしたら出来るかなどを考慮し支援している</p>		

アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者の 利用者の3分の2くらいの 利用者の3分の1くらいの ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族と 家族の3分の2くらいと 家族の3分の1くらいと ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
		○	少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の3分の2くらいが
			職員の3分の1くらいが
			ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の3分の2くらいが
			利用者の3分の1くらいが
			ほとんどいない
68	職員からみて、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族が
			家族の3分の2くらいが
			家族の3分の1くらいが
			ほとんどできていない

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月2日

確定日 平成22年6月14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2770801682		
法人名	株式会社ケア21		
事業所名	たのしい家田辺(3階)		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪市東住吉区田辺2-11-43		
自己評価作成日	平成22年5月3日	評価結果市町村受理日	

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.osaka-fine-kohyo-c.jp/kaigosip/Top.do
情報提供票を活用する場合	

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 ケア・ウィル
所在地	愛知県名古屋市中村区則武1-13-9 チサンマンション第三名古屋1109号
訪問調査日	平成22年5月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者様の威厳を尊重し、自分らしい生活の維持を、職員はもとより、家族・地域と共に支援します。</p> <p>残された能力を最大限に活かし、出来る喜びや達成感のある日常生活を支援します。</p> <p>最高のサービスを提供する為、研修を行い、職員の育成に努めます。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念が見える所に掲示している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントや地域のデイサービスを利用している。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	イベント等で職員と共に参加をしているので、支援の方法などは徐々に理解を得ている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での要望・意見は取り入れ、次回の会議で改善したことを、報告している。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる	介護フェステバルに参加しパネルで紹介した。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	研修等を実施して職員の互いの拘束の意識を高めている		
7		虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等を実施して職員の互いの虐待防止の意識を高めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用している入居者が居るので必要性は話し合っている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は入居者や家族が納得するまで話し合いをしている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	推進会議などで家族の意見・要望など活発に発言がある。その都度改善している。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の職員会議や、日2回の申し送り時に、意見。提案を聞いている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的な訪問、人事考課、ほめカード、従業員満足度アンケートにより職場環境整備に努めている		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で年間研修計画を立て研修をしている。外部の研修参加も推奨している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	事業所連絡会・区内GH連絡会の参加を推奨している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に面接で本人のアセスメントを行い、性格や生活歴を把握し安心感が持てるよう関係作りに努めている</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族より困っていることや要望に沿って関係作りに努めている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族にとって最良のサービスを家族・本人と話し合い対応している。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の先輩として学ぶ事が多く、意見を参考にしている。</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族と本人の関係を把握しより良い関係が築けるように努めている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場の関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人の希望、要望により、なじみの人や場所との関係が途切れないように努めている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士の会話の橋渡しなど行い孤立しないように努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他所に移動した入居者も家族や新入居先からの相談を受けている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向に添うように努めている 困難な場合は本人本位に検討している。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から生活歴や生活環境をアセスメントを行っている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来る事の能力の把握し自尊心を傷つけないような支援を努めている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	意見が出た場合は家族や本人と話し合い、施行し適している場合は介護計画に反映している		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は介護記録に記入し、申し送り時に気づいた事等、職員間で共有している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	体調や精神的に日々若干異なるのでその都度対応を変えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のイベントに参加をしたり地域を散歩や買物をしている。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に一回往診がある		
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	毎朝バイタルチェックを行い体調の変化があれば看護師、住診医に相談し受診している。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院や家族に様子を聞き早期に退院出来る様病院に働きかけている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	かかり付け医と家族と共に方針を決めている。家族や本人の要望を優先にするよう努めている		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防から救命訓練など行っている急変時の対応も訓練している。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行い全職員が対応出来る様に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格や生活歴などを把握しその人にあった又自尊心を傷つけない言葉掛けをしている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望などは取り入れている又自己決定できにくい人は選択できるよう配慮している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者優先にその人にあった過ごし方を支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回訪問理容師が希望のある入居者のカットや毛染めをしたり、着替え時に声掛けをしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付けや食事作り・お茶入れ等は入居者と共に行い、共に食事している。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は毎回記入している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	就寝時や起床時は口腔ケアを行っている、毎食後はうがいを進めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表に排泄の頻度を記入し声掛けや誘導を行っている		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表に排便時を記入して居る。便秘時は看護師やDrに相談している		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	時間帯や曜日は決めているが、本人の希望を取り入れ柔軟に対応している。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝状況に応じ個々の対応にしたがった支援をしている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の支援と症状の変化の対応をしている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事準備の分担や食材仕分けの役割を決め張り合いのある日々を遅れるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>毎日散歩の他に居室担当者と共に行きたい所に行けるよう支援している。地域の花見等に参加をしている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分でお金を持ちたい人は小銭を持っている。買い物時に自分で支払うにしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人や家族の希望があれば支援している</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を感じてもらうように壁に木を作り入居者と共に季節の風物や花を飾っている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファを設置し気のあった同士で話をしている。また一人でTVを見ている</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族や本人の要望を取り入れている</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>何処まで出来るかを把握し、どうしたら出来るかなどを考慮し支援している</p>		

アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者の 利用者の3分の2くらいの 利用者の3分の1くらいの ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族と 家族の3分の2くらいと 家族の3分の1くらいと ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
		○	少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くない
66	職員は活き活きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の3分の2くらいが
			職員の3分の1くらいが
			ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の3分の2くらいが
			利用者の3分の1くらいが
			ほとんどいない
68	職員からみて、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族が
			家族の3分の2くらいが
			家族の3分の1くらいが
			ほとんどできていない